



報 告 書

大工研報第 719号

依 頼 者	所 在 地 または住所	大阪市住吉区南住吉1丁目17番5号
	企 業 名 または氏名	株式会社ユーケミカル 様
提出試料名	Gespa Lot. No. 08071409	
依 頼 事 項	殺菌力	

平成 20 年 7 月 14 日付 第 200533 号で依頼のあった件について
提出試料の試験結果を次のとおり報告します。

1. 提出試料

Gespa Lot. No. 08071409 (名称は依頼者の申し出による) 1種。
依頼者より提出されたサンプルは液状で、試験には原液を使用した。

2. 試験方法

5ml の普通ブイヨン培地 (栄研化学 (株)) でメチシリン耐性黄色ブドウ球菌 (*Staphylococcus aureus* IID 1677) を 27℃ で一晩振盪培養後、1mL を分取し 9000rpm で遠心分離した。上澄を取り除き、沈殿を滅菌した生理食塩水 4.6mL (0.85% NaCl) に懸濁した。この菌懸濁液 0.05mL をプラスチック容器に入れた試料 (4.95mL) に接種した後、ふたをして 30℃ に放置した。1分後に、この菌懸濁液 0.05mL を 4.95mL の SCDLP 培地 (日本製薬 (株)) 中に回収し、滅菌した生理食塩水 (0.85% NaCl) で 10 倍ずつ 4 段階希釈を行い、これら菌懸濁液 1ml 中の生菌数を測定した。なお、接種時の生菌数は試料の代わりに滅菌した生理食塩水 (0.85% NaCl) を用い同様の操作を行い測定した。生菌数の測定は衛生試験法・注解 (2005) 1.2.1.1 細菌一般試験法 3) 菌数測定 (1) 混釈平板培養法 (p. 59) を参考にして行った。ただし、微生物の培養には SCDLP 寒天培地「ダイゴ」 (日本製薬 (株)) を用い、37℃ で 48 時間培養した。

(次ページに続く)

平成 20 年 8 月 6 日

地方独立行政法人大阪市立工業研究所

理 事 長 島 田 裕 司



3. 試験結果

試験菌名	提出試料名	測定	生菌数*(cfu/mL)**
メチシリン耐性 黄色ブドウ球菌	Gespa Lot. No. 08071409	接種1分後	検出されず
	対照	接種時	7.8×10^6

*) 生菌数は、試料中の生菌数濃度に換算した。また、シャーレ上に30以上のコロニーが認められた場合に計測した。この場合、検出限界は 3.0×10^3 cfu/mLとなる。

**) cfu : コロニー形成単位

—以 上—